



2019年2月12日

各位

東京都千代田区外神田四丁目14番1号
株式会社 アクセル
代表取締役社長 松浦 一 教
(コード番号 6730 東証第1部)
問い合わせ先
執行役員 管理グループ 植野 悦 匡
ゼネラルマネージャー
電 話 03-5298-1670

(訂正)「2019年3月期第3四半期 決算説明資料」の一部訂正について

2019年1月25日に公表しました「2019年3月期第3四半期 決算説明資料」について、下記の通り訂正いたします。

記

1. 訂正理由

四半期報告書の作成過程において会計監査人からの指摘があり、「2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載内容の一部に修正が生じました。これに伴い、「2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」と併せて「2019年3月期第3四半期 決算説明資料」を修正するものです。

2. 訂正の内容

訂正箇所は下記の通りです。訂正箇所は下線で表示しています。

(訂正前)

2019年3月期第3四半期(累計) 損益計算書(前年同期比)

5

(単位:百万円)

	'18/3 3Q実績	売上比	'19/3 3Q実績	売上比	増減額	増減率
売上高	4,613	100%	3,618	100%	△995	△22%
売上原価	2,733	59%	2,328	64%	△404	△15%
売上総利益	1,880	41%	1,289	36%	△590	△31%
販管費 (研究開発費)	2,326 (1,666)	50% (36%)	2,778 (2,112)	77% (58%)	451 (445)	19% (27%)
営業利益 (△損失)	△446	△10%	△1,488	△41%	△1,042	-
経常利益 (△損失)	△432	△9%	△1,477	△41%	△1,045	-
純利益 (△損失)	△145	△3%	<u>△1,805</u>	<u>△50%</u>	<u>△1,660</u>	-

特別損失(投資有価証券評価損)234百万円を計上
繰延税金資産の取り崩しによる税金費用の負担増

(訂正後)

2019年3月期第3四半期(累計) 損益計算書(前年同期比)

5

(単位:百万円)

	'18/3 3Q実績	売上比	'19/3 3Q実績	売上比	増減額	増減率
売上高	4,613	100%	3,618	100%	△995	△22%
売上原価	2,733	59%	2,328	64%	△404	△15%
売上総利益	1,880	41%	1,289	36%	△590	△31%
販管費 (研究開発費)	2,326 (1,666)	50% (36%)	2,778 (2,112)	77% (58%)	451 (445)	19% (27%)
営業利益 (△損失)	△446	△10%	△1,488	△41%	△1,042	-
経常利益 (△損失)	△432	△9%	△1,477	△41%	△1,045	-
純利益 (△損失)	△145	△3%	<u>△1,829</u>	<u>△51%</u>	<u>△1,684</u>	-

特別損失(投資有価証券評価損)234百万円を計上
繰延税金資産の取り崩しによる税金費用の負担増

(訂正前)

2019年3月期第3四半期末 財政状態

| 7

(単位：百万円)

	'18/3末	構成比	'19/3 3Q末	構成比													
流動資産	11,479	88%	8,973	89%													
現金・預金	6,868	53%	6,501	65%													
売掛金	3,304	25%	759	8%	当四半期末月の売上高が前期末月の売上高に対して減少したことが要因												
商品及び製品	480	4%	1,306	13%													
その他	825	6%	406	4%													
固定資産	1,556	12%	<u>1,074</u>	11%	保有する投資有価証券の評価減等												
資産合計	13,035	100%	<u>10,048</u>	100%													
流動負債	1,580	12%	524	5%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>流動負債</th> <th>'18/3末</th> <th>'19/3 3Q末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>買掛金</td> <td>1,344</td> <td>416</td> </tr> <tr> <td>未払法人税等</td> <td>43</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>193</td> <td>107</td> </tr> </tbody> </table>	流動負債	'18/3末	'19/3 3Q末	買掛金	1,344	416	未払法人税等	43	-	その他	193	107
流動負債	'18/3末	'19/3 3Q末															
買掛金	1,344	416															
未払法人税等	43	-															
その他	193	107															
固定負債	35	0%	<u>37</u>	0%													
負債合計	1,616	12%	<u>562</u>	6%													
純資産合計	11,418	88%	<u>9,486</u>	94%													
負債・純資産合計	13,035	100%	<u>10,048</u>	100%													

(訂正後)

2019年3月期第3四半期末 財政状態

| 7

(単位：百万円)

	'18/3末	構成比	'19/3 3Q末	構成比													
流動資産	11,479	88%	8,973	89%													
現金・預金	6,868	53%	6,501	65%													
売掛金	3,304	25%	759	8%	当四半期末月の売上高が前期末月の売上高に対して減少したことが要因												
商品及び製品	480	4%	1,306	13%													
その他	825	6%	406	4%													
固定資産	1,556	12%	<u>1,052</u>	11%	保有する投資有価証券の評価減等												
資産合計	13,035	100%	<u>10,026</u>	100%													
流動負債	1,580	12%	524	5%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>流動負債</th> <th>'18/3末</th> <th>'19/3 3Q末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>買掛金</td> <td>1,344</td> <td>416</td> </tr> <tr> <td>未払法人税等</td> <td>43</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>193</td> <td>107</td> </tr> </tbody> </table>	流動負債	'18/3末	'19/3 3Q末	買掛金	1,344	416	未払法人税等	43	-	その他	193	107
流動負債	'18/3末	'19/3 3Q末															
買掛金	1,344	416															
未払法人税等	43	-															
その他	193	107															
固定負債	35	0%	<u>40</u>	0%													
負債合計	1,616	12%	<u>564</u>	6%													
純資産合計	11,418	88%	<u>9,461</u>	94%													
負債・純資産合計	13,035	100%	<u>10,026</u>	100%													

(訂正前)

ご参考：2019年3月期 四半期ごとの業績

| 9

(単位：百万円)

	1Q実績	売上比	2Q実績	売上比	3Q実績	売上比
売上高	724	100%	1,466	100%	1,427	100%
売上原価	466	64%	988	67%	872	61%
売上総利益	257	36%	477	33%	554	39%
販管費 (研究開発費)	1,516 (1,283)	209% (177%)	629 (415)	43% (28%)	632 (413)	44% (29%)
営業利益 (△損失)	△1,258	△174%	△152	△10%	△77	△5%
経常利益 (△損失)	△1,247	△172%	△156	△11%	△73	△5%
四半期純利益 (△損失)	△871	△120%	△117	△8%	<u>△816</u>	<u>△57%</u>
受注高	1,299	—	616	—	1,631	—

(訂正後)

ご参考：2019年3月期 四半期ごとの業績

| 9

(単位：百万円)

	1Q実績	売上比	2Q実績	売上比	3Q実績	売上比
売上高	724	100%	1,466	100%	1,427	100%
売上原価	466	64%	988	67%	872	61%
売上総利益	257	36%	477	33%	554	39%
販管費 (研究開発費)	1,516 (1,283)	209% (177%)	629 (415)	43% (28%)	632 (413)	44% (29%)
営業利益 (△損失)	△1,258	△174%	△152	△10%	△77	△5%
経常利益 (△損失)	△1,247	△172%	△156	△11%	△73	△5%
四半期純利益 (△損失)	△871	△120%	△117	△8%	<u>△840</u>	<u>△59%</u>
受注高	1,299	—	616	—	1,631	—

以上

証券コード6730

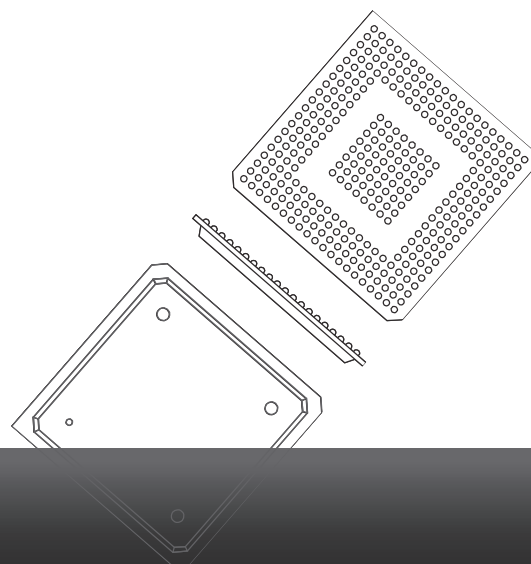
株式会社アクセル

2019年3月期（第24期）第3四半期
決算説明資料

2019年1月25日

2019年2月12日（P.5 P.7 P.9に修正を実施）

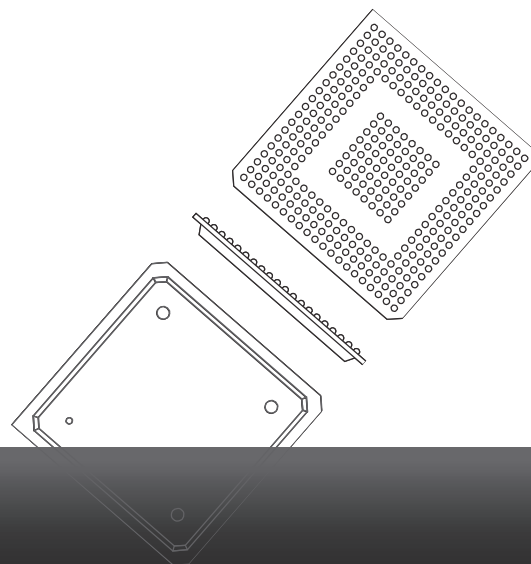
※修正箇所には下線を表示しています。



AXELL CORPORATION

株式会社アクセル

1. 2019年3月期第3四半期の業績



AXELL CORPORATION

株式会社アクセル

新規事業に関連したトピックス

- Acculus社と最新のAI・ディープラーニングを用いたコンピュータビジョン分野で協力
- AXIPシリーズ ファイルパッキングミドルウェア「VUCKET」を提供開始
- クラフタースタジオ社が制作するTVアニメ「インGRES」の制作工程に超解像技術「GRADIA」が採用
- スマホ向けSRPG「メガミラクルフォース」に開発協力（2019年1月末配信予定）
 - レベニューシェア型の収益モデル
- 子会社におけるマイニングプール(VIPPOOL)譲受け完了
- AXIPシリーズ 超高圧縮ムービーコーデック「LESIA」を提供開始
- 東芝テックコーポレートアクセラレータープログラム“Innovate Together”に採択
 - 採択テーマ：超解像技術「GRADIA」によるシャープな画像処理とMFP（Multifunction Printer）の融合

2019年3月期第3四半期 市場動向

現在の主力市場（パチンコ・パチスロ機市場）の動向

- 2019/3期のパチンコ・パチスロ機の販売台数は、155万台（前期203万台）と想定し業績予想を計画
 - 2018年2月に改正「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則」が施行
 - 依存症対策強化の影響により総販売台数の逡減傾向が継続
 - 2019年3月期は、新基準機への移行端境期
 - 旧基準機中心の販売状況が続くが、新基準機が徐々に出始める見通し



第3四半期までは概ね想定通りの厳しい市場環境で推移

一時的な市場在庫の調整

リユースに積極的な顧客が好調のため、当社製品のリユース率の増加

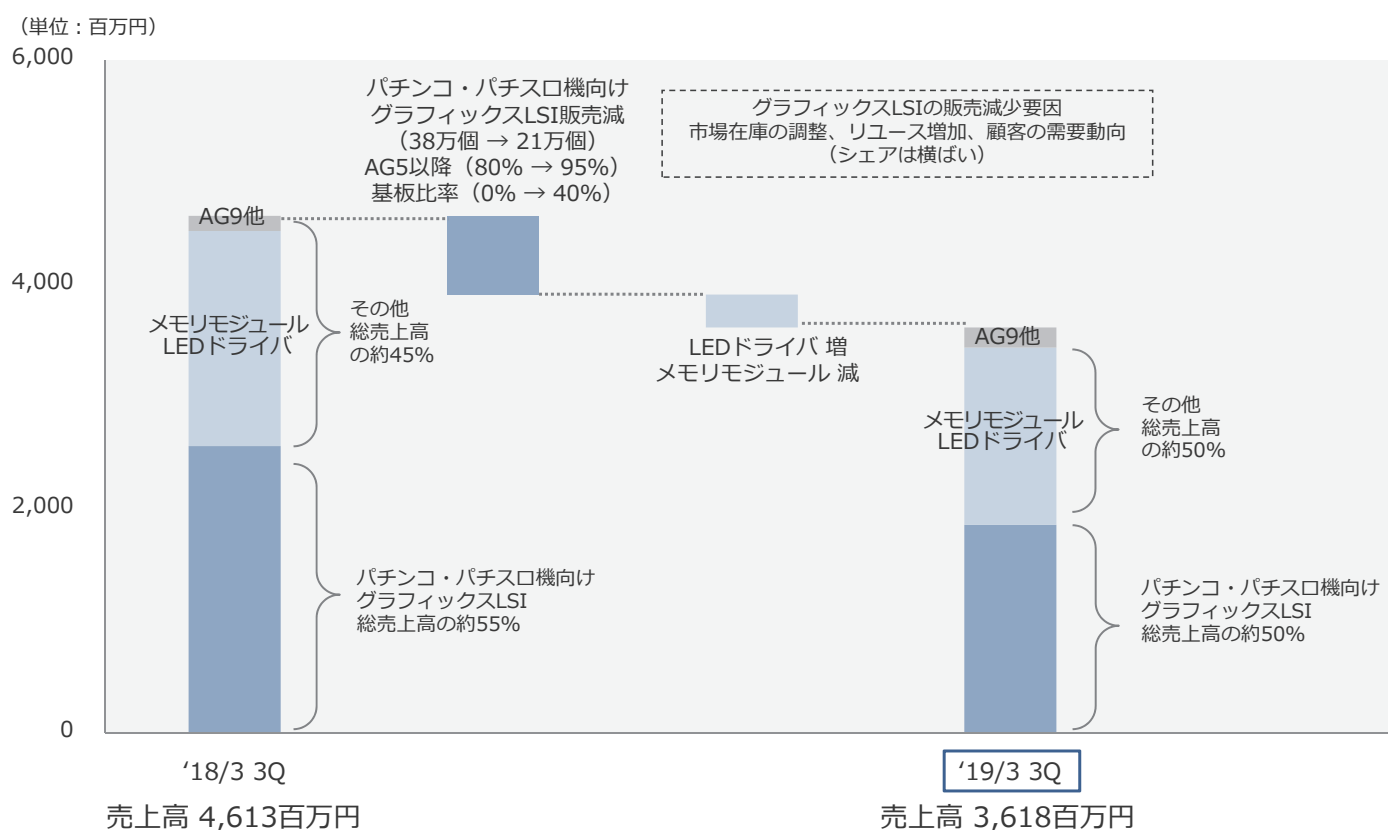
（単位：百万円）

	'18/3 3Q実績	売上比	'19/3 3Q実績	売上比	増減額	増減率
売上高	4,613	100%	3,618	100%	△995	△22%
売上原価	2,733	59%	2,328	64%	△404	△15%
売上総利益	1,880	41%	1,289	36%	△590	△31%
販管費 (研究開発費)	2,326 (1,666)	50% (36%)	2,778 (2,112)	77% (58%)	451 (445)	19% (27%)
営業利益 (△損失)	△446	△10%	△1,488	△41%	△1,042	-
経常利益 (△損失)	△432	△9%	△1,477	△41%	△1,045	-
純利益 (△損失)	△145	△3%	<u>△1,829</u>	<u>△51%</u>	<u>△1,684</u>	-

特別損失（投資有価証券評価損）234百万円を計上
繰延税金資産の取り崩しによる税金費用の負担増

2019年3月期第3四半期（累計）売上高の分析（前年同期比）

売上高 3,618百万円（前年同期比 995百万円減）



(単位：百万円)

	'18/3末	構成比	'19/3 3Q末	構成比													
流動資産	11,479	88%	8,973	89%													
現金・預金	6,868	53%	6,501	65%													
売掛金	3,304	25%	759	8%	当四半期末月の売上高が前期末月の売上高に対して減少したことが要因												
商品及び製品	480	4%	1,306	13%													
その他	825	6%	406	4%													
固定資産	1,556	12%	<u>1,052</u>	11%	保有する投資有価証券の評価減等												
資産合計	13,035	100%	<u>10,026</u>	100%													
流動負債	1,580	12%	524	5%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>流動負債</th> <th>'18/3末</th> <th>'19/3 3Q末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>買掛金</td> <td>1,344</td> <td>416</td> </tr> <tr> <td>未払法人税等</td> <td>43</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>193</td> <td>107</td> </tr> </tbody> </table>	流動負債	'18/3末	'19/3 3Q末	買掛金	1,344	416	未払法人税等	43	-	その他	193	107
流動負債	'18/3末	'19/3 3Q末															
買掛金	1,344	416															
未払法人税等	43	-															
その他	193	107															
固定負債	35	0%	<u>40</u>	0%													
負債合計	1,616	12%	<u>564</u>	6%													
純資産合計	11,418	88%	<u>9,461</u>	94%													
負債・純資産合計	13,035	100%	<u>10,026</u>	100%													

2019年3月期通期 業績計画の修正 (当初計画比)

(単位：百万円)

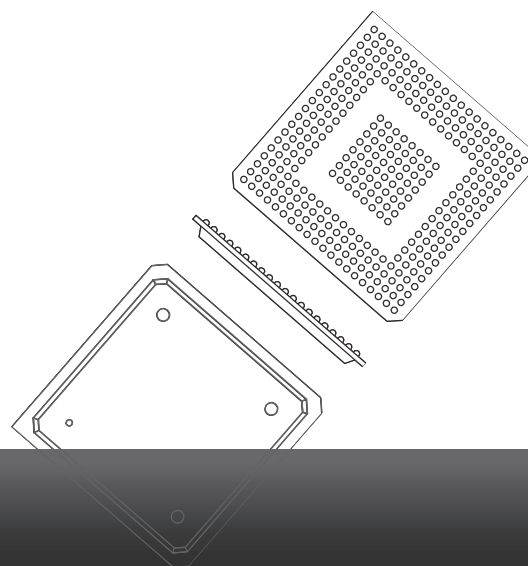
	'19/3 当初計画	売上比	'19/3 1.25修正	売上比	増減額	増減率
売上高	6,300	100%	5,000	100%	△1,300	△21%
売上原価	4,150	66%	3,250	65%	△900	△22%
売上総利益	2,150	34%	1,750	35%	△400	△19%
販管費 (研究開発費)	3,600 (2,750)	57% (44%)	3,450 (2,570)	69% (51%)	△150 (△180)	△4% (△7%)
営業利益 (△損失)	△1,450	△23%	△1,700	△34%	△250	-
経常利益 (△損失)	△1,450	△23%	△1,700	△34%	△250	-
当期純利益 (△損失)	△1,050	△17%	△2,000	△40%	△950	-

特別損失（投資有価証券評価損）及び繰延税金資産の取り崩しによる税金費用の負担増を見込む

(単位：百万円)

	1Q実績	売上比	2Q実績	売上比	3Q実績	売上比
売上高	724	100%	1,466	100%	1,427	100%
売上原価	466	64%	988	67%	872	61%
売上総利益	257	36%	477	33%	554	39%
販管費 (研究開発費)	1,516 (1,283)	209% (177%)	629 (415)	43% (28%)	632 (413)	44% (29%)
営業利益 (△損失)	△1,258	△174%	△152	△10%	△77	△5%
経常利益 (△損失)	△1,247	△172%	△156	△11%	△73	△5%
四半期純利益 (△損失)	△871	△120%	△117	△8%	<u>△840</u>	<u>△59%</u>
受注高	1,299	—	616	—	1,631	—

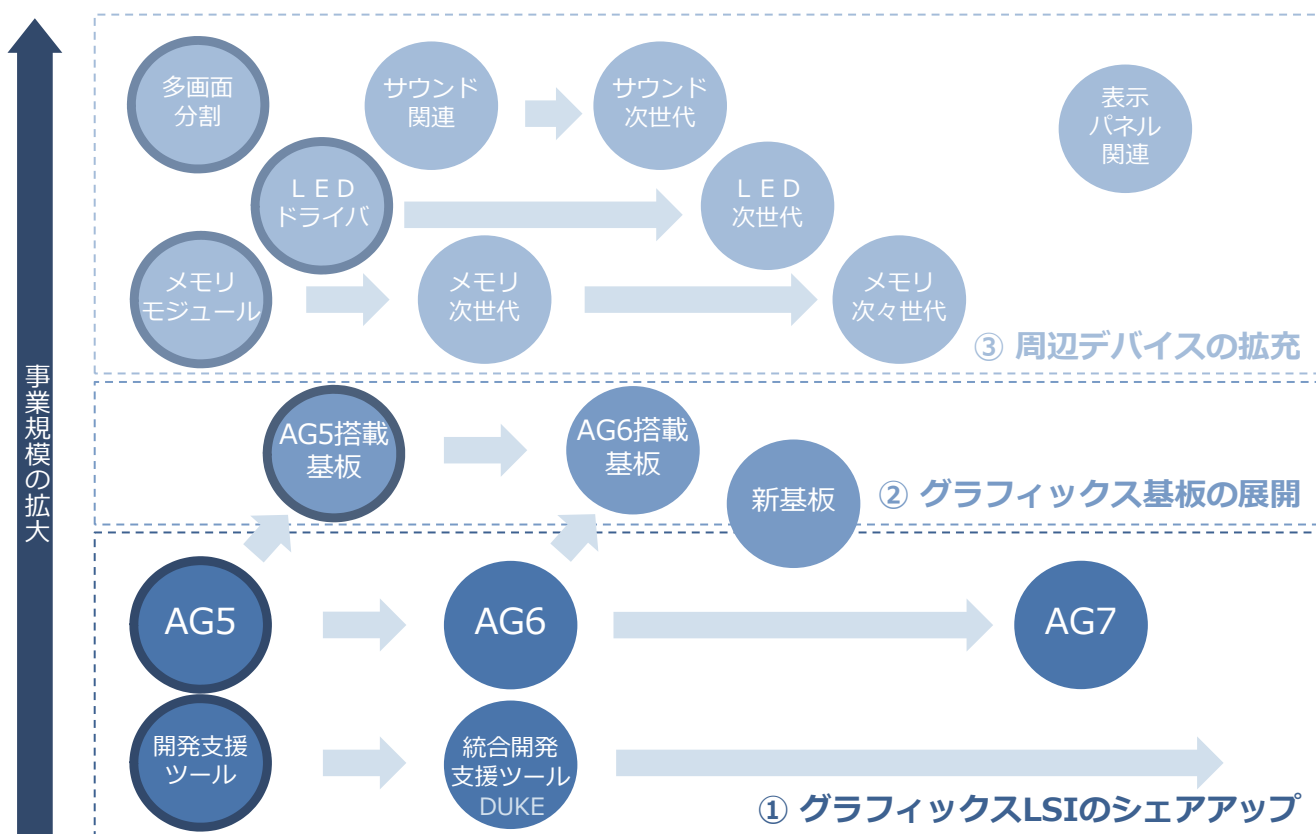
2. 補足資料（2018年4月26日開催 決算説明会資料より抜粋）



パチンコ・パチスロ機向け製品で培ってきた技術・ノウハウを他製品にも展開
組み込み機器市場に加え、新たにミドルウェア、暗号技術、機械学習の3領域で新規事業の確立を目指す



LSIビジネスからシステム製品を中心とした
ソリューションベンダーへの転換で事業規模を拡大



着実な営業活動を継続 AG903で産業用途拡大を模索

組み込み機器向けでのアライアンスを推進し、大型案件の獲得と採用先の拡大を加速

<p>AG901 2003年～</p> <p>AG902 2005年～</p> <p>AG10 2009年～</p> <p>FA 計測機器 医療機器 建機のバックモニタ、改札機等</p>	<p>AG903 2016年～</p> <p>AG9シリーズの最新製品 機能強化 標準技術の採用</p> <p>医療器、製造設備、 車両設備、計測器、 アミューズメントホール等</p>	<p>■AG903パートナー</p> <table border="0"> <tr> <td> IARシステムズ</td> <td> アイ・エル・シー</td> </tr> <tr> <td> 京都マイクロコンピュータ</td> <td> ダイナコムウェア</td> </tr> <tr> <td> イー・フォース</td> <td> SCREEN グラフィックソリューションズ</td> </tr> </table>	 IARシステムズ	 アイ・エル・シー	 京都マイクロコンピュータ	 ダイナコムウェア	 イー・フォース	 SCREEN グラフィックソリューションズ
 IARシステムズ	 アイ・エル・シー							
 京都マイクロコンピュータ	 ダイナコムウェア							
 イー・フォース	 SCREEN グラフィックソリューションズ							

新たな用途の拡大

エスディーテック株式会社（出資先）

- ・ 組み込み機器向けにムービーコーデックの技術供与
- ・ 大手メーカーのカラオケ選曲端末の告知サービスに採用
- ・ 自動車メーカー向けにも採用検討（評価用ライセンスを付与）

商号 : エスディーテック株式会社
 代表者 : 代表取締役社長 川端 一生
 所在地 : 東京都港区



ザインエレクトロニクス株式会社（業務提携先）

- ・ 車載機器や事務機器等向けで両社知見を生かした共同開発を検討

商号 : ザインエレクトロニクス株式会社
 代表者 : 代表取締役社長 高田康裕
 所在地 : 東京都千代田区



株式会社ティアフォー（出資先）

- ・ 自動運転関連でのシステムLSIの共同研究

商号 : 株式会社ティアフォー
 代表者 : 代表取締役社長 武田一哉
 所在地 : 愛知県名古屋市中村区



新規事業の方向性

要素技術の研究開発から、製品を実現するためのハードウェア、ソフトウェアを総合的に開発が可能である当社の強みを生かして、以下の3領域で新規事業の確立を目指す

ミドルウェア (AXIP)

遊技機市場で培った技術を生かして、広義のアミューズメント市場に価値ある技術を提供

暗号技術

暗号 (セキュリティ製品等) 及びブロックチェーンの研究開発を通じて、分散型社会を実現するためのプラットフォームを提供

機械学習

機械学習の研究開発を通じて、IoTエッジデバイスの高度化を実現するための画像認識技術を提供

ミドルウェア (AXIP)

ミドルウェア製品 (AXIP)

- ターゲットをゲーミング市場に絞り、圧縮技術を中心にミドルウェアを提供
- 多機能パッケージとして販売することで付加価値を向上
- コンソールゲーム、ブラウザゲーム (Web GL)、インディーズゲーム対応を積極推進
- 今後の新製品予定
 - **AILIA** (2018.8予定) DNNフレームワーク
 - **VUCKET** (2018.9予定) ファイル・パッカー
 - ・ 画像や音声などの大量のファイルを一括にまとめる機能
 - ・ ファイルの破損チェックや暗号化、圧縮にも対応
 - **LESIA** (2018.12予定) 超高圧縮による通信帯域の削減



動画圧縮

- **LESIA** (2018.12)
超高圧縮
- **H2MD**
ブラウザで動作

H2MD
H2MD for UNITY

音声圧縮

- **C-FA**
低遅延
低負荷

(Cfa)

当社独自のラインアップ (差別化要素)

超解像	新規IP
<ul style="list-style-type: none"> ● GRADIA 高解像度化 GPGPU <p>GRADIA.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● AILIA (2018.8) DNNフレームワーク ● VUCKET (2018.9) ファイル・パッカー

※ DNN: Deep Neural Network

セキュリティ製品

- アプリケーションの暗号化ソリューション「SHALO」を販売予定(2018.末予定)
 - SHALO-HL: ハードウェアによる暗号化ソリューション
 - ・ USB dongleをハードウェアキーとして提供
 - ・ 暗号通貨のハードウェアウォレットやログイン認証などにも展開予定
 - SHALO-SL: ソフトウェアによる暗号化ソリューション
 - ・ ライセンスファイルを発行し提供
 - AXIPでもライセンス管理に活用予定
- ターゲットは標準プラットフォームを利用したアプリケーション全般



SHALO-SL

- ライセンスファイル
- ソフトウェアによる暗号化ソリューション

SHALO-HL

- USB dongle
- ハードウェアによる暗号化ソリューション

ブロックチェーン事業（子会社の設立を検討）

- モナコイン・マイニングプール「VIPPOOL」の運営権の取得について協議中
- 当社の研究開発力と「VIPPOOL」の既存プラットフォームを融合させて事業拡大を目指す
 - マイニングプールの運営と既存資産であるFPGAを用いた自社マイニングからスタート
 - スマートコントラクトによる自動決済が可能なイーサリアムにも対応予定
 - マイニングハードウェア（FPGA）の販売やブロックチェーン支援事業に参入予定

マイニングプールの運営
マイニングハードウェア自社運用

マイニングハードウェア
の販売

ブロックチェーン支援事業

解析ツール、ダッシュボードアプリの提供等による付加価値向上

既存資産を用いた自社マイニング

VIPPOOLを通じたマイニングハードウェアの販売

専用ASICやGPUがカバーできない市場ニーズに対応

ブロックチェーン技術を応用したB2Bソリューションの提供

マージドマイニングを活用したコンピュータ資源の提供

高度な鍵管理システムの提供

モナコインとは

- 2013年12月に誕生した国内初の暗号通貨
- ライトコインがベース、ASIC耐性を持つハッシュ関数が採用
- 日本中心に活発なユーザコミュニティがあり、実店舗での決済にも利用
- 時価総額は約2.35億米ドル（2018.4.22時点）

VIPPOOLについて

- 2014年2月にサービスインしたマイニングプール
- 現存する日本最古のマイニングプール※
- 国内最大級のモナコイン・マイニングプール※
- サービスの安定性と日本語サポートが特長
※当社調べ

ViP Pool

<https://vipool.net/>

機械学習

画像認識

- IoTエッジデバイスの高度化を実現するため、画像認識を中心とした機械学習技術を研究開発
- ディープラーニング・フレームワーク「AILIA」を2018年8月にリリース予定
- NEDO「ドメイン特化型IoTプラットフォームの研究開発」及びティアフォー社との共同研究成果を有効活用し事業を展開
- CNNなど自動運転システムに必要な要素技術をIP製品として展開することを検討
- 10月に 人工知能/ビジネスAI 2018（日経BP主催）に出展予定

DNNフレームワーク

エッジ側推論に特化したフレーム
ワーク

画像認識ハードウェア

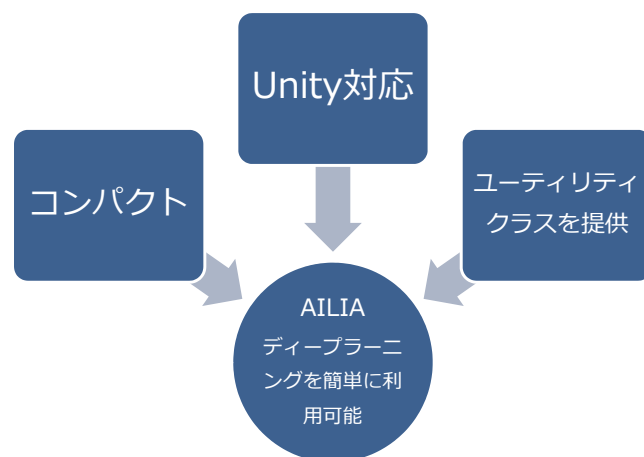
NEDO案件の研究成果を有効活用して
ハードウェアIPを開発中

※ CNN: Convolutional Neural Network

※ DNN: Deep Neural Network

AILIA

- エッジ側推論に特化したディープラーニング・フレームワーク
 - コンパクトな認識ライブラリを提供
 - マルチプラットフォーム対応
 - Windows/Mac/iOS/Android/(FPGA)
 - 完全自社開発で組み込みシステムにも移植可能
- 重み係数の圧縮
 - 独自の圧縮技術により1/3以下の容量に削減
- ユーティリティクラスを提供
 - ディープラーニングの知識なしに簡単に利用可能
 - 物体検出、画像分類、特徴抽出に対応
- Unity対応
 - ゲームプログラマが利用可能

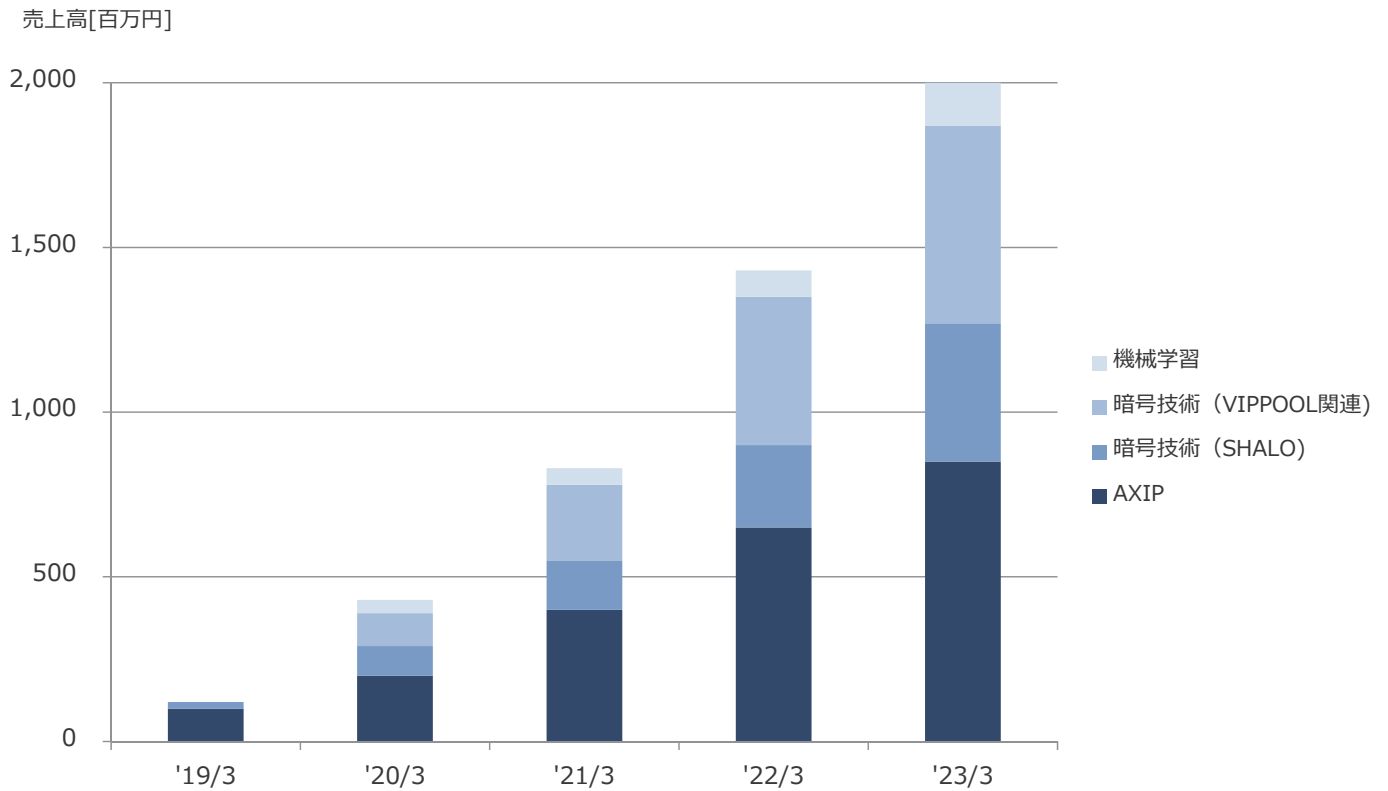


AILIAを用いた物体検出例 (“顔検出” “性別認識” “年齢推定” “表情検出” が簡単に実装可能)



写真はイメージです。

今後5年の業績貢献目標（新規事業で売上高20億円、粗利10億円が当面の目標）



本資料に記載の予想数値を含む将来に係る情報は、現時点における仮定を前提としています。
 実際の業績は、今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
 本資料の一部または全部を弊社の許可なく、転載・複製することのないようお願い申し上げます。